



越前大野の基礎を築いた
歴史人たちの足跡

おおの歴史人伝

れきしびとでん

結の故郷
越前おおの

大野市役所 商工観光振興課
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1 ☎0779-66-1111(代)
平成28年9月

おのおの歴史人
その壺

大野城と城下町を整備

かなもりながちか

一五二四〜一六〇八

一向一揆の鎮圧に成功し、
織田信長から与えられたのが大野だった!

室町時代の1524年に美濃
で生まれた金森長近。18歳で
織田家に仕え、その当時8歳
だった信長の世話係となる。
1555年に今川義元との戦い
で手柄を立てたことから、信長
から“長”の字を使うことを許さ
れ、名を長近と改めた。主君
の名前の文字をもらうことは、
当時は大変名誉なことだった。

1575年には越前の一向一
揆の鎮圧に功績を残し、その
恩賞として、信長から大野郡
の3分の2(約3万5000石)を
与えられる。

1586年には豊臣秀吉の命で
攻め落とした飛騨一国を与えら
れ、高山城(現在の岐阜県高
山市)を築城。同時に城下町も
整備した。1600年の関ヶ原の
合戦でも東軍(徳川軍)での活
躍が認められ、美濃国上有知
(現在の岐阜県美濃市)を与
えられ小倉山城を築く。長近
は、全国各地で城と城下町の
整備を行い、現在でいう都市
計画の才能を発揮した。

名前にある“長”は
信長様から
いただいたのだ!

戦さ上手だった長近
は茶の道にも通じて
おり、文化人として
の一面も見られた
金森長近(素玄寺蔵)



長近の築城から約440年後、 “天空の城”として有名に!



越前大野城

石垣について

自然の石を積み上げる
「野面積み(のづらづ
み)」の石垣は、崩れ
にくく頑丈で、水はけ
もよい。この工法が築
城の古さを証明してい
る。また、石垣と地面が接するところに注目すると弓状に
なっていることが分かる。これは、石垣の耐久性を高める
ためと言われている。



長近は、標高約249mの亀山に大野城を築き、ふもとに城下町を
整備。当時の大野城は外堀・内堀があり、石垣を組んで天守閣を構
えるという新しい方式の平山城だった。これは、従来のような軍事目
的だけでなく、政治や経済、文化の中心として、さらには城主の力を
示すという意味もあった。

後に天守閣は、江戸時代の1795年に大火によって焼失。現在の
天守閣は、残された絵図や同時代の城を参考に1968年に再建され
たもので、歴代城主の遺品などを展示している。また、亀山は史跡
公園として遊歩道なども整備されている。

近年では、雲海の中に浮かぶ幻想的な姿が話題となり、「天空の
城」として大野市のシンボルに。全国から多くの人が足を運んでいる。

信長・秀吉・家康と、
時代ごとの支配者に
仕えたんだ!

長近銅像

越前大野城の近くにある長近の
像。確かに穏やかな雰囲気



長近による舌し世のまちづくり。

都市計画の才能を活かし
理想的な城下町を築く。

大野に入った長近は、大野城の築城と同時に城下町づくりを進めていく。現在も平成大野屋の西側に流れる「芹川用水」を境に、西側を武家屋敷、東側は町人屋敷とし、京都のような碁盤目状の通りを整備。さらに、「本願清水」「御清水」のように町の各所から今も湧き出る地下水を巧みに利用し、生活用水や防火用水として町じゅうに水を巡らせた。各家の境には生活排水用の「背割用水」を設け、その姿は現在も見る事ができる。ポンプがない時代、水路の傾斜のみで水源から町全体に水を通した技術力の高さがうかがえる。

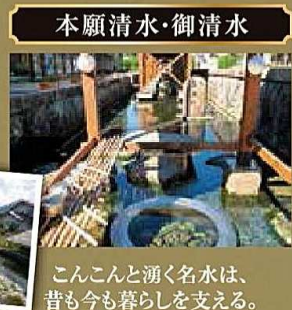
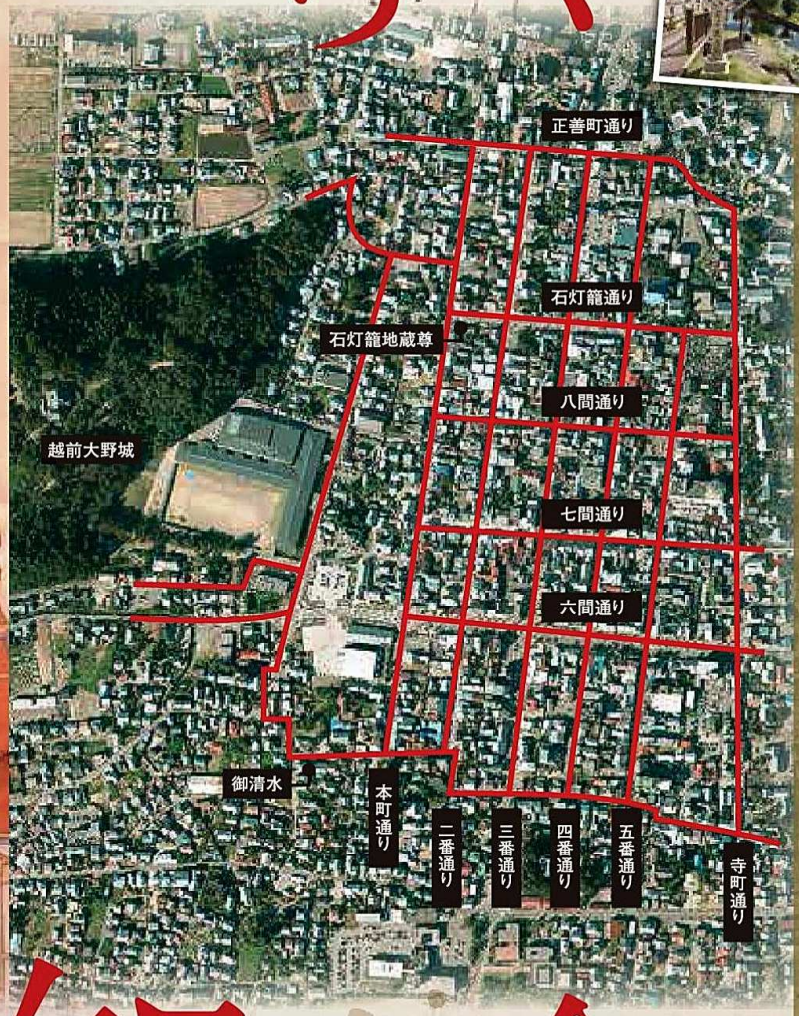
また、城下町の最も東側(大野城の反対側)には9もの宗派の寺が並ぶ通りを配置。これは、信仰している宗派の寺が町の入口にあれば心理的に攻めづらいだろうという、敵の信仰心を利用した防衛としてのもの。さらに、城下町に入る道も攻めにくくするために形をカギ状にしている。

長近は、今も残る名水の恵みと乱世の時代ならではのまちづくりの知恵で、現代に続く豊かな城下町の基礎を完成させたのだ。



約440年前から今でも現役。この用水を境に武家側と町人側に分けられていた。「背割用水」の名は、各家の背中合わせの境を流れることから。

「諸国当城之図」越前大野(天和年間1681~84)
(広島市立中央図書館浅野文庫蔵)



ここんと湧く名水は、昔も今も暮らしを支える。
長近は主な水源に町の南東にある「本願清水」(左)を利用。1934年には「陸封型イトヨ生息地の南限」として国の天然記念物に。大野城や武家屋敷の生活用水として使われた「御清水」(右)は「殿様清水」とも呼ばれる。

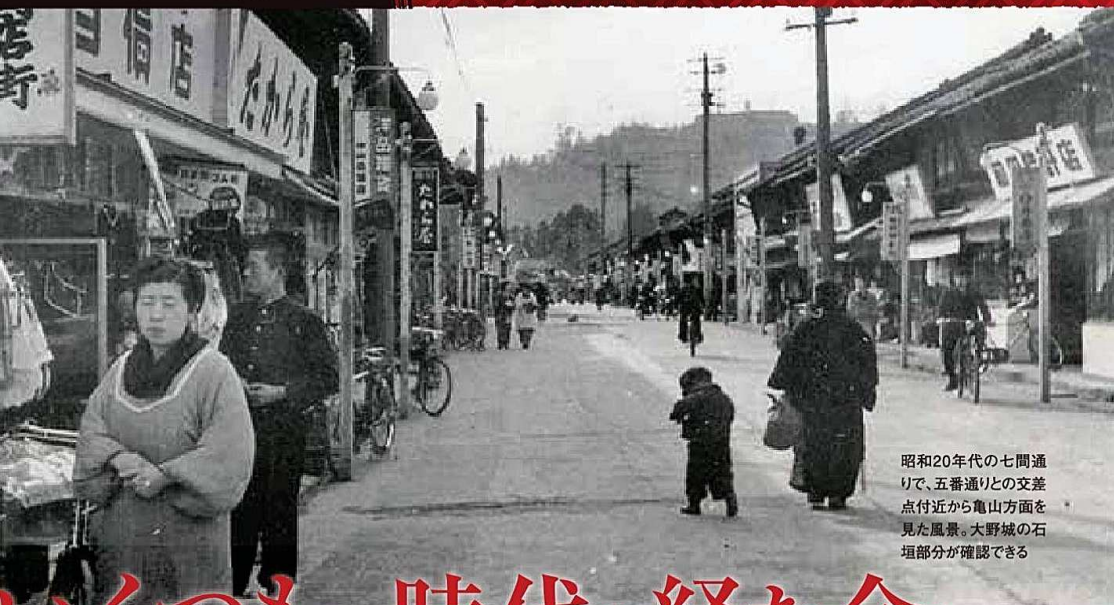


まちづくりの測量基点がココ!
城下町づくりの際に、測量の基点となったと伝えられる場所。その時に使った水縄(面積を測るための目盛りをつけた縄)などの用具が埋められていると伝わる。



敵の信仰心を利用し
城下町への侵入を防ぐ!
9つの宗派、16もの寺が並ぶ通り。敵の侵入を防ぐための通りが、今では城下町大野の歴史と風情を感じるスポットに。

さまざまなき恵が今も残る。



昭和20年代の七間通りで、五番通りとの交差点付近から亀山方面を見た風景。大野城の石垣部分が確認できる

いくつもの時代を経た今も 碁盤の目のまちはお城とともに。

長近が整備した城下町は碁盤の目状の通りがほぼ当初のまま、約440年経った現在でも市民の暮らしを支えている。エリア全体では、亀山に建つ越前大野城とその城下町として、七間通りの石畳舗装や昔ながらの街並みの保存などで歴史を感じるまちづくりを行っている。通りごとに商店街が4つあり、それぞれに代々続く老舗はもちろん個人的な新店も登場。お城に見守られながらの賑わいは、長近の時代から変わっていない。

趣きある町家

七間通りにある「南部酒造場」



そでかべ
袖壁

大野は明治以降にたびたび大火に見舞われたため、隣への延焼を防ぐために設けられた。仕切りや目隠しといった用途もあり。

げやびし
下屋庇

古い町家の特徴とも言え、この連なりが美しい街並みを作り出している。雨風を防ぐだけでなく、家の風格を生む役割もある。



金森家伝来

びやくだんぬり こぎねうのはないとおとし
白檀塗小札卯花糸威
にまいどうぐそく
二枚胴具足

金森家に伝わる鎧。兜(かぶと)の鉢(頭を覆う部分)の手間をかけた作り方などから格式の高さうかがえる。(大野市歴史博物館にて展示中)

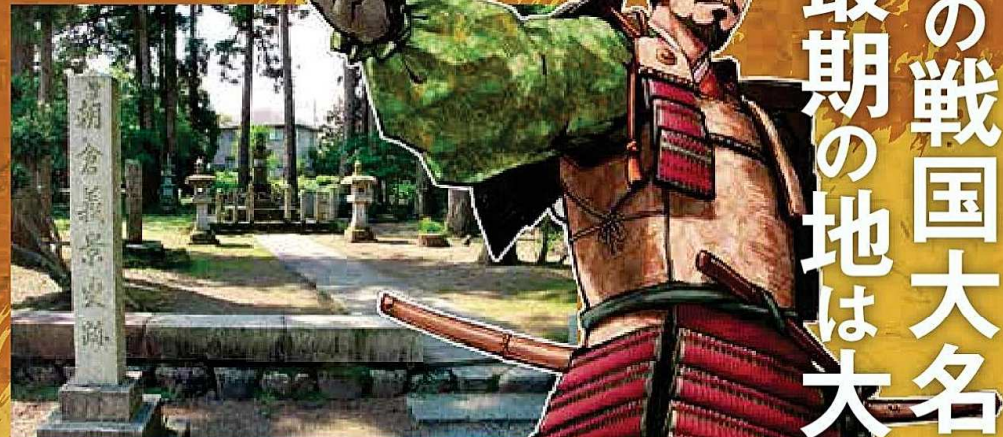
朝倉義景

5代続いた朝倉家最後の当主

あさくらよしかげ

おのおの歴史人
プラス

越前の戦国大名・朝倉氏。 その最期の地は大野だった！



大野市泉町にある朝倉義景墓所。実際に義景が自刃した六坊賢松寺がどこにあったのかは今でも分かっていない(大野市明倫町の曹源寺あたりという説もあり)

4年におよぶ信長との戦い。

ついに朝倉義景は追いつめられる……!

織田信長の上洛の命令を無視した一乗谷・朝倉氏5代目当主、朝倉義景。以来、4年に渡り攻防を繰り返すが、ついに1573年、存亡をかけた戦いに！ 信長軍は義景と同盟を結ぶ浅井長政の小谷城(現在の滋賀県長浜市)を攻め落とすと、続く刀根坂(現在の敦賀市)での戦いにも勝利し、義景軍は一乗谷へと退却する。義景は従兄である朝倉景鏡の進言で、大勢の僧兵がいる平泉寺を頼るために大野へ。しかし、逃れた大野の六坊賢松寺で景鏡の裏切りによる兵に襲われ義景は自刃。5代103年もの間、越前を支配した名門の朝倉家は、刀根坂の大敗からわずか8日後、大野の地でその最期を迎えた。

京都から公家や文化人を迎え、一乗谷に雅やかな文化圏を築いた義景。一乗谷朝倉氏遺跡(福井市)からは茶道具などが数多く発掘されている

おのおの歴史人
その式

土井利忠

どいとしたりだ

若千8歳で大野藩主に

無駄遣いはしないが、
学問や西洋式の軍備には、
お金を惜しまなかったのだ!

一八二〇〜一八六八

藩の財政立て直しと 将来を見据えた 人材育成に成功!

土井利忠は江戸時代の1811年に江戸で生まれ、わずか8歳で土井家の7代を継いで大野藩主となる。そして1829年、19歳の時に大野へ。

藩の財政はとても厳しく、利忠は1842年の「更始の令」によって藩政改革を始め、藩財政の立て直しを進めていく。当時の借金の額は9万6200両ほど(現在で数十億円)にもほり、これは洪水や大火事といった災害や、凶作などの影響でふくらんだもの。利忠は「更始の令」で、自らの生活を厳しく切り詰めることを課し、借金返済にあてることで財政を立て直す決意を表している。武士や一般の人々にも節約をすすめ、贅沢を禁止した。

同時に人材の重要性を説き、優秀な人材の登用も柱にして藩政改革を進めていった。



8歳の若さで藩主となった利忠。52歳で引退するまで44年もの間、激動の幕末を藩主として務めた土井利忠(柳郷社蔵)

大野藩が使用していた書物の数々。(上段左・中)オランダ語辞書、(上段右)英語辞書、(下段左)兵学書、(下段右)医学書(大野市歴史博物館蔵)

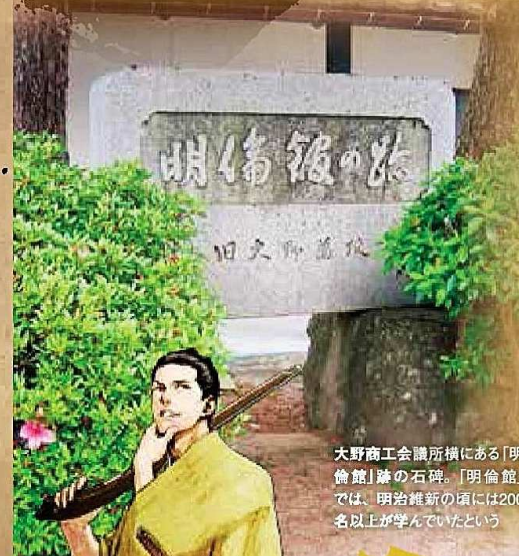


“人は宝”。育成した人材が、 後の大野藩を盛り上げ支える!

藩の政治や経済の立て直しには、新しい知識を学んだ人材が必要と考えた利忠は、1844年に藩校「明倫館」を開設する。当時では珍しく、「明倫館」では武士の子弟に限らず、広く一般家庭の子どもにも門戸を開き学ばせていた。ここで育った人材が、後に大野藩の商業や鉱業などを活発にし、藩財政の再建に大きく貢献したと言われている。

同時に大野藩は洋学の研究にも力を入れていた。家臣に江戸・京都・大坂(大阪)で西洋医学や砲術を学ばせたのち、「洋学館」を1856年に設立。藩として洋学の学校を作ること自体が全国でも数少なく、加えて教師に伊藤貞蔵(緒方洪庵の「適塾」塾頭)を招いたことから、利忠の教育に対する熱意を感じることができる。

藩財政は苦しい中でも高価な本を資料として購入するなど、日本でもトップクラスの洋学が学べたことから、近隣の藩からはもちろん全国各地から大野の地に留学生が集まった。

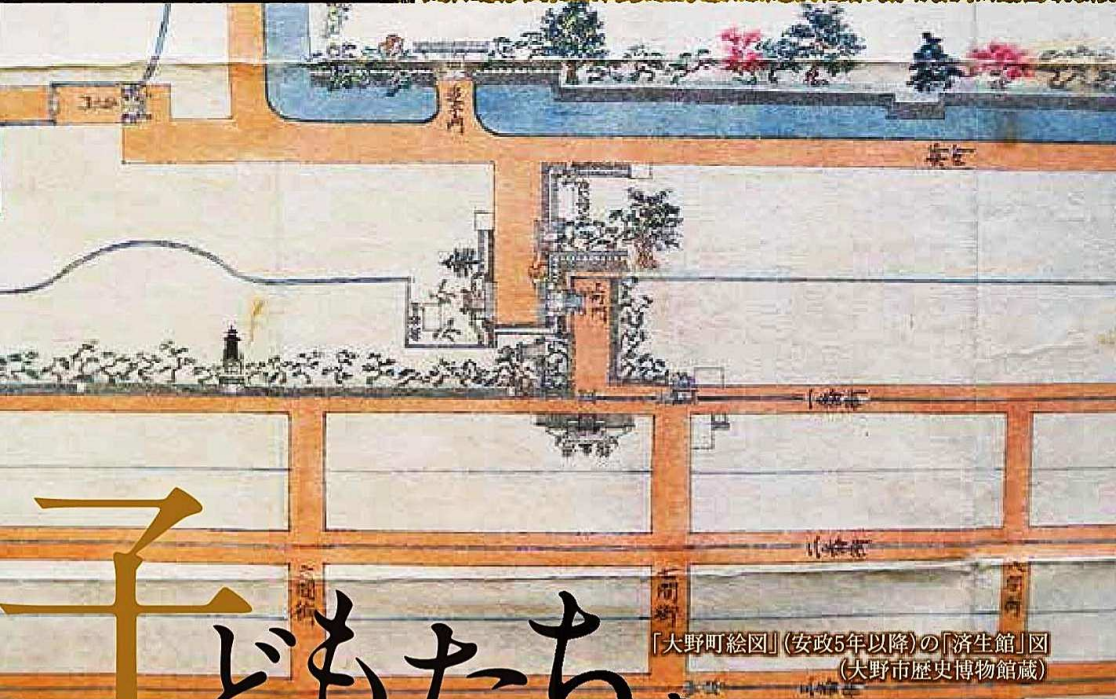


大野商工会議所横にある「明倫館」跡の石碑。「明倫館」では、明治維新の頃には200名以上が学んでいたという

「洋学館」では、
海外の専門書を翻訳し
出版したり、砲術なども
学んだのだ!

緒ステーション駐車場内にある「洋学館」に関する石碑。「洋学館」には九州や四国からの留学生もいたと記録が残る





「大野町絵図」(安政5年以降)の「済生館」図
(大野市歴史博物館蔵)

子どもたちを 天然痘から救え!



江戸時代に天然痘は、
死亡率が高い病疫として
恐れられていたんだ。

江戸よりも早かった種痘所の開設。

利忠は長男を天然痘で亡くしている。そのこともあり、利忠の天然痘に対する想いには強いものがあつた。
長崎で日本初の種痘(天然痘を予防するワクチン接種)が始まったのが1849年。そのわずか2年後の1851年には、大野藩の一番町に種痘所を開設している。江戸に種痘所が開設されるのは1858年なので、その8年も前のことだ。利忠は、幼児には必ず種痘を受けさせるように命じ、天然痘の撲滅に努める。
さらに、1857年には種痘所を「済生館」という病院に改め、さまざまな病気の治療、医療の普及を行った。

ペリー来航の翌年には 早くも軍隊を洋式編成に。

1845年から利忠は、日本では最新の技術と言われた西洋流、高島流砲術を家臣に学ばせ、翌1846年には大砲を製造する。
1853年にアメリカのペリー提督が黒船で浦賀(現在の神奈川県横浜須賀市)に来航すると、利忠は翌年の1854年に大野藩の軍隊を西洋式の配置・編成に変更している。その後、鉄砲も盛んに作るようになり、1856年には大野藩で作られた鉄砲数十挺が江戸に送られ、江戸幕府の警備用に使われることになった。
このように、大野藩では早くから西洋式の軍備を整えていたことから、江戸時代末期の1868年から始まる明治新政府軍と江戸幕府軍との最後の戦い「箱館戦争」に、明治政府からの要請で参戦している。



大野藩の箱館への出兵は、
幕末に蝦夷地開拓
(次からの内山良体を参照に
取り組んでいた)ことも
理由のひとつだった。

大砲や鉄砲も “MADE IN ONO”



安政元年大調練行列図(柳廼社蔵)

おのおの歴史人
その考

藩直営の「大野屋」を全国展開! 売り上げを伸ばし、 藩の借金を完済へ。

内山良休・隆佐の兄弟は、藩主・土井利忠の「更始の令」から始まった藩政改革に尽力し、財政再建や人材育成などさまざまな事業で成果を上げた。

兄の良休は、武士でありながら商いを学び、「大野藩」の財政立て直しのためにタバコや生糸などの地場産品を売り出すことを提案する。1855年以降に越前の各地はもちろん、大坂(大阪)や箱館(函館)など、全国に37店舗もの藩直営店「大野屋」を開き、流通網も整備。今で言うチェーン店を全国に展開し、藩にあった多額の借金返済に務めた。

他にも、鉱山の藩営化や蝦夷地(現在の北海道)の開拓などで弟の隆佐とともに手腕を発揮し、大野藩の発展を支えた。

当時、武士が商売をするのは前代未聞だったんだ!

武士ながらそろばん片手に奔走

うちやまりようきゅう

一八〇七〜一八八一



所電祭

往時の面谷鉱山。平地が少ない山の斜面に石垣を造り、住宅やさまざまな施設を建てて多くの人が暮らしていた

面谷鉱山
(大野市歴史博物館蔵)

商いの才能はとどまらず、 その目は銅山の藩営化へ!

良休は藩主の土井利忠より、藩の財政再建の一手として面谷鉱山(現在の^{おも}大野市大谷)の改革を命じられる。

当時の面谷鉱山では良質の銅を主に採掘していた。良休は鉱山を藩営化し、採れた銅や金銀を全国の「大野屋」で販売することで大きな利益を上げている。大野藩による面谷鉱山の経営は、廃藩置県が行われた翌年の1872年まで続けられた。

明治時代に入ると、面谷鉱山の^{はいはんちけん}一帯は日本有数の鉱山地帯として繁栄を見せる。大野の中心市街地にも電気が通っていない頃から自家発電所や電話が普及し、劇場などの娯楽施設もあったという。最盛期には600戸、3000人が暮らし、近代化へと急速に進む日本の産業を支えるが、銅の需要の減少などから1922年に閉山となった。

「大野屋」を全国に広げたのは兄の良休、蝦夷地調査の先頭に立ったのは弟の隆佐だった

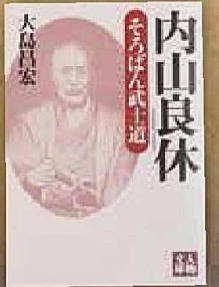
内山良休

(大野市歴史博物館提供)



内山隆佐

(大野市歴史博物館提供)



良休がモデルとなった小説家!

「そろばん武士道」大島昌宏

幕末の大野藩が舞台の長編歴史小説。「大野屋」の開店や藩船「大野丸」のことなど、良休の功績を知ることができる。

やまあい 山間の小さな藩が威信をかけて取り組んだ大プロジェクト!

1855年に江戸幕府が蝦夷地(現在の北海道)開拓の募集を行うと、弟の隆佐は土井利忠に応募を提案。1858年には北蝦夷地(現在の樺太・サハリン)の開拓許可を江戸幕府より得る。その内容は、日本の最も北にある地での原野の開墾と漁場の開発、さらには辺境防備という大役を兼ねるものだった。

隆佐は藩が建造した西洋式の帆船「大野丸」で北蝦夷地へ行き、現地調査や開拓を指揮する。1860年には江戸幕府が許可した開拓地は大野藩領となった。

しかし、1862年に藩主の利忠が引退、その2年後には自慢の大野丸が根室沖で座礁し沈没するなど、度重なる不運もあり、1868年に明治新政府へ開拓地を返上することになる。

北方の蝦夷地開拓という困難な事業を「寒さに強い大野人ならきっとできる」という想いで取り組んだ、山間の小さな大野藩。日本の将来にも目を向けた、藩の威信をかけての大事業だった。

次に目を付けたのは 蝦夷地の開拓!

今も受け継がれる「大野屋事業」。

北蝦夷地の開拓地を明治政府に返上した後も、「大野屋」はタバコや生糸など大野の地場産品と全国の地場産品の交易により利益を着実に伸ばし、全国で最大37もの店を展開することになる。

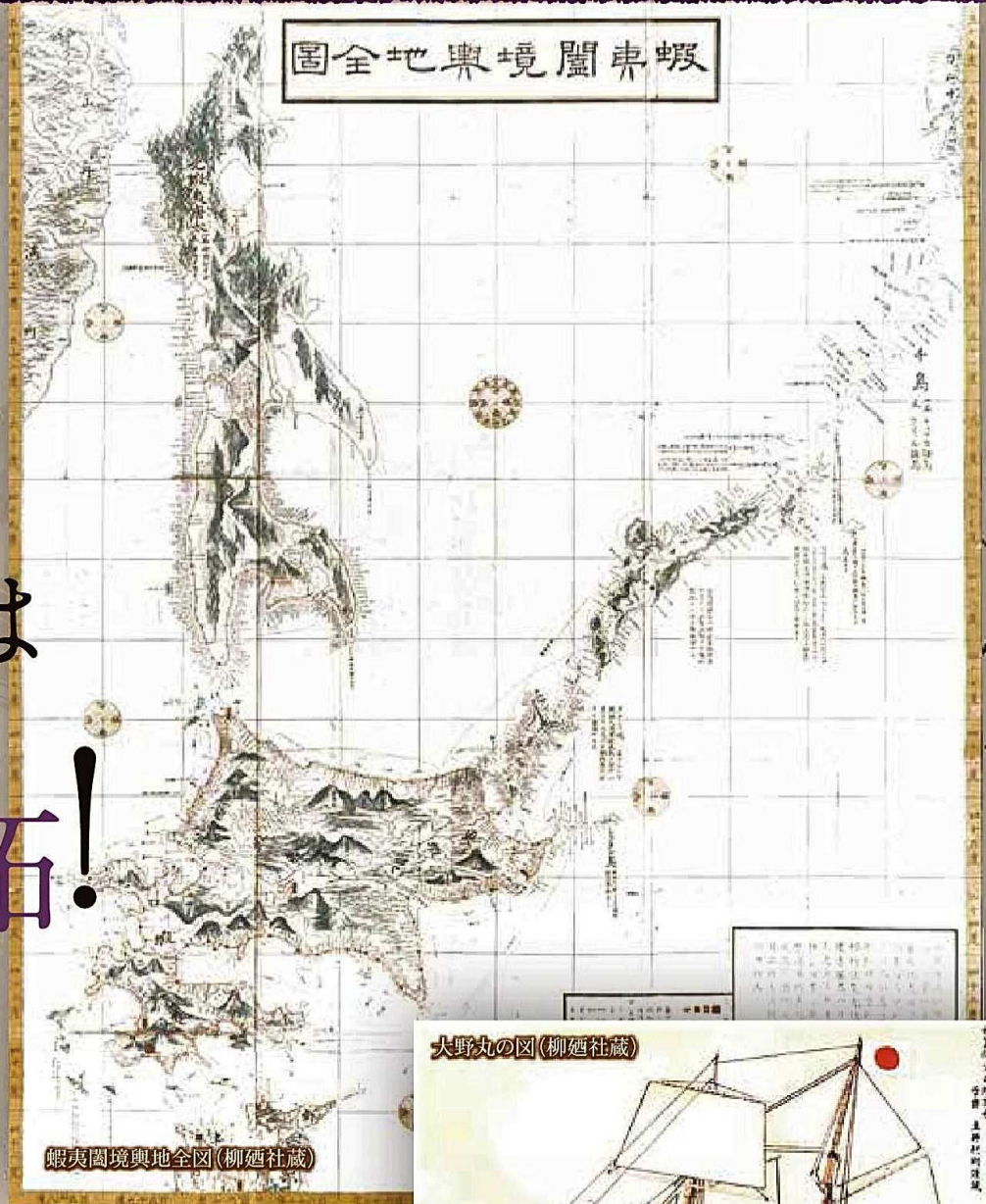
この「大野屋」の手法と精神に習い、「平成の大野に新しい活力をもたらす」ことを目的に設立されたのが「平成大野屋」。大野市の特産品販売や地元食材を使った食事の提供を行うとともに、インターネットを活用するなど、現代の手法で全国に大野の魅力を発信している。

(上)箱館にあった「大野屋」の図(函館中央図書館蔵)

(下)「平成大野屋」の外観



蝦夷地興地全図



蝦夷地興地全図(柳酒社蔵)

大野丸の図(柳酒社蔵)



1858年に完成した「大野丸」は、2本マストで全長約32m、幅は約7m。マストの上には日の丸、船尾には土井家の家紋がついている。完成翌年には応募による藩士や農民など約30人が乗船し、主に敦賀〜箱館を往復。大野屋で扱う商品を運んで利益を上げた。1859年8月には、箱館の近海で難破したアメリカ商船「ヘスペリーン号」の乗組員を救助している

大野丸の図(柳酒社蔵)
大野丸は、大野藩の藩主土井利忠が、大野藩の発展を期して建造した帆船である。

大野市の歴史施設を訪ねてみよう!



越前大野城

織田信長から大野郡を与えられた金森長近によって、標高約249mの龜山に築かれた平山城。石垣は自然石をそのまま積み上げた「野面積み」という工法によるもの。江戸時代に焼失したため、現在の天守は1968年に再建されたもので歴代城主の遺品などを展示している。雲海に浮かぶ姿も見られることから、近年は「天空の城」として有名に。

大野市城町3-109 ☎0779-66-0234
🕒AM9:00～PM5:00(10月～11月PM4:00まで)
🎫冬期間(12/1～3/31) 大人200円、中学生以下無料



大野市歴史博物館

大野市の縄文時代から近代までの歴史資料を収集・保存・展示。特に白山信仰については、新たな資料や立山信仰との関連を示す資料があり、奥越の歴史と文化の性格について深く知ることができる。その他、中世の仏教や福井にゆかりある絵師の岩佐又兵衛の絵画資料とともに、大野藩土井家7代藩主である利忠公以降の藩政資料、藩船「大野丸」の模型や関係資料など、数多く展示している。

大野市天神町2-4 ☎0779-65-5520
🕒AM9:00～PM4:00(日祝はPM5:00まで)
🎫年末年始(12/27～1/4) 大人200円、中学生以下無料



大野市民俗資料館

時代の移り変わりによって消滅や変化していく民俗資料を、郷土文化の基盤として保存・展示。建物にも歴史があり、1889年に大野治安裁判所として建てられ、1968年まで使用されていたものを活用している。社寺建築を思わせる外観ながら、内部は洋風で仕上げているなど、明治中期の地方の裁判所として全国的にも貴重な建物となっている(大野市指定文化財)。

大野市城町2-13 ☎0779-66-0238
🕒AM9:00～PM4:00(日祝はPM5:00まで)
🎫年末年始(12/27～1/4) 大人200円、中学生以下無料



武家屋敷旧内山家

幕末から明治にかけて、数々の事業で大野の発展に尽力した内山良休・隆佐兄弟の偉業を偲ぶために、後の内山家の屋敷を解体し復元したもの。母屋は1882年頃の建築で、離れは大正時代に建てられた数寄屋風書院となっている。味噌蔵、米蔵、衣装蔵もあり、中でも米蔵と衣装蔵では、軒先を頼杖で支えるこの地方独特の造りを見ることができる。

期間限定で抹茶(料金別途)も提供。

大野市城町10-7 ☎0779-65-6122
🕒AM9:00～PM4:00(日祝はPM5:00まで)
🎫年末年始(12/27～1/4) 大人200円、中学生以下無料



武家屋敷旧田村家

大野藩の家老を務めた田村又左衛門の屋敷を解体し復元した、福井県内では数少ない江戸時代末期の武家屋敷のひとつ。1827年の大火の後に、農家を移築して武家屋敷に改築したもので、大野藩上級武家屋敷の様相をとどめる貴重な史跡となっている。大野城の土居(敵が城へ侵入するを防ぐ土手)の一部が、市内で唯一、田村家の庭園に築山として転用され残っている。

大野市城町7-12 ☎0779-65-6212
🕒AM9:00～PM4:00(日祝はPM5:00まで)
🎫年末年始(12/27～1/4) 大人200円、中学生以下無料

福井の藩政改革を進め 幕末の混乱期は国政へ。

まつだいらしゅんがく ござんきょう たやすけ
松平春嶽は徳川御三卿である田安家に生まれ、11歳で福井松平家の養子となる。16歳の時に福井に入ると、負債を多く抱えていた藩政の立て直しに着手。熊本から横井小楠を政治顧問として招き、下級武士だった三岡八郎(由利公正)や橋本左内を登用し、改革を進めた。1853年のペリー来航で国内が動揺する中、春嶽は早くから開国論を主張し、薩摩(現在の鹿児島県)や土佐(現在の高知県)などとともに国政に積極的に参画する。



春嶽を祀る福井神社に立つ銅像。春嶽像は「福井市立郷土歴史博物館」横にもある

隠居生活から再び 激動の時代の表舞台へ!

その後、江戸幕府の將軍継嗣問題の争いに敗れたことで隠居謹慎となるが、対立する井伊直弼が「桜田門外の変」で暗殺されると、新設された政治総裁職(現在の総理大臣)に就く。

明治維新後は新政府でさまざまな要職を歴任するが、1870年に一切の官職を辞し、晩年は文筆活動に専念。1890年に63歳で静かにこの世を去った春嶽は、激動の時代に日本の舵をとった明君とされている。



大野藩の内山良体とも親交があったと思われる。その手がかりとなるのが春嶽が良体に贈ったとされる直筆の詩幅[複製](武家屋敷旧内山家で展示中)

「幕末の四賢侯」に数えられる福井藩主

松平春嶽

まつだいらしゅんがく

一八二八〜一八九〇

今押さえておきたい 福井の歴史人



公正直筆の「議事之体大意」。これが原案となり、木戸孝允らの加筆・修正を経て「五箇条の御誓文」が発表された(福井県立図書館蔵)

開かれた会議や世論の尊重など、これからの政治に必要なことを、5つ書き出しているんだ。



藩財政を黒字に導いた手腕に、龍馬も注目!

みつおがはちろう ゆりきみまさ
三岡八郎(後の由利公正)は現在の福井市毛矢で、福井藩士の長男として1829年に生まれる。後に福井藩に仕え、横井小楠に師事。藩政改革を進める中で「藩札」を発行し、生糸生産者への融資や生糸の販路開拓などにより、莫大な借金があった藩財政を黒字へと導いた。これに注目した坂本龍馬の推薦で、公正は新政府の金融財政の担当に就任する。新政府でも財政は苦しく、公正は政府初の紙幣「太政官札」を発行し、この危機を乗り切った。

新しい日本の元となる 考え方を作成!

公正は後に明治政府の基本方針となる「五箇条の御誓文」の原案「議事之体大意」を作成。1871年には東京府知事に就任し、レンガ造りの銀座通りを整備するなど、東京の都市計画も手がけた。1874年には「民撰議院設立建白書」に署名し国会開設にも携わるなど、公正は近代日本の基礎を築く上で、数々の大きな役割を果たした。



公正の発案で発行された全国通用紙幣「太政官札」(福井市立郷土歴史博物館蔵)

龍馬の推挙で新政府の金融財政担当に

由利公正

ゆりきみまさ

一八二九〜一九〇九